

平成23年度

神戸大学文学部公開講座

日本社会と大災害
— 古代・中世から3.11大震災まで —



原発事故の後、福島にて(写真:フォト・ジャーナリスト豊田直巳)

開講期間

自 平成23年 9月24日(土)
至 平成23年10月 8日(土)
毎週土曜日 午後1時30分～午後4時40分

受講申込期間

平成23年8月18日(木)
～9月22日(木)
ただし、定員になり次第、受付を終了します。

主催：神戸大学文学部

お問い合わせ 神戸大学大学院人文学研究科総務係 078-803-5591

平成23年度 神戸大学文学部公開講座募集要項

1 講座のテーマ

「日本社会と大災害 —古代・中世から3.11大震災まで—」

2 講座の内容

3月11日に東日本を襲った大地震・津波、そして直後に起こった福島原発事故は、日本社会に未曾有の被害と影響を及ぼしています。今年度の公開講座では、いままでに日本人は、大災害に見舞われた時、どのように受け止め、振る舞い、そして、どのように乗り越えてきたのか、さらには、放射線汚染に代表されるような新たなリスクに満ちた現代社会の中で、私たちはどのような共生の形を作っていくべきか、様々な人文学の視点から考えてみたいと思います。

歴史学、文学、社会学、心理学、哲学そして倫理学を専門とする六名の教員が担当しますが、今年度は、三週とも、テーマ的に近い二つの講義をお聞きいただいた後、講師の間での意見交換も含めた質疑応答の時間を十分にとる「フォーラム」形式で行ってみたいと思います。

3 受講対象者

一般市民、学生

4 募集人数

100人

5 受講料

無料

6 受講申込方法等

(1) 受付期間 平成23年8月18日(木)～平成23年9月22日(木)

ただし、定員になり次第、受付を終了します。

(2) 申込方法

・同封の「受講申込書」に必要事項を記入し、下記に郵送又はFAXで送信して下さい。

・「受講申込書」は研究科ホームページ

<http://www.lit.kobe-u.ac.jp/>よりダウンロードすることもできます

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学大学院人文学研究科総務係
FAX：078-803-5589

(3) 問い合わせ先

神戸大学大学院人文学研究科総務係
TEL 078-803-5591

7

その他

神戸市に「暴風警報又は大雨警報」が発令された場合、午前11時までに警報が解除されなかった場合は、その日の講座は休講とします。

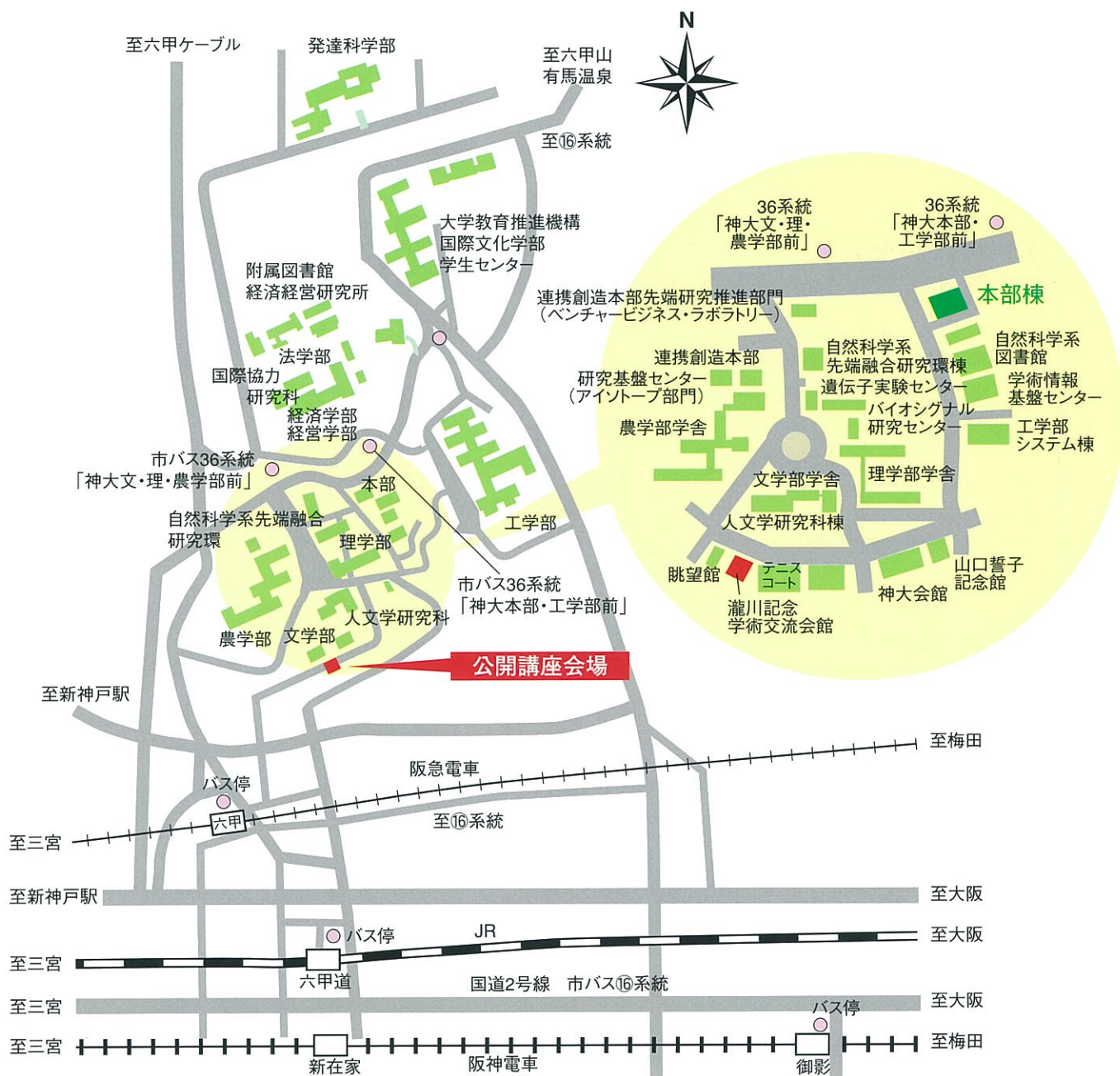
8

会場

神戸大学瀧川記念学術交流会館大会議室

阪急神戸線「六甲」駅、JR神戸線「六甲道」駅、又は阪神本線「御影」駅から36系統「鶴甲団地」行きに乗車、「神大文・理・農学部前」もしくは「神大本部・工学部前」下車。

- 阪急六甲駅から約10分
- JR六甲道駅から約15分
- 阪神御影駅から約20分



日 時	講 義 内 容	講 師
9月24日(土)		
13:30~13:40	【開講式】 挨拶	文学部長 釜谷武志
13:40~15:10	フォーラム(1)「歴史学と文学から」 【第1回】 講義：日本古代史における大災害と復興	准教授 古市晃
15:20~16:50	【第2回】 講義：日本中世文学に描かれた大災害	准教授 樋口大祐
10月1日(土)		
13:30~15:00	フォーラム(2)「社会学と心理学から」 【第3回】 講義：日本近世の大災害と家族変動	准教授 平井晶子
15:10~16:40	【第4回】 講義：ソーシャル・サポート －比較文化心理学の観点から	准教授 石井敬子
10月8日(土)		
13:30~15:00	フォーラム(3)「哲学と倫理学から」 【第5回】 講義：リスクと安全の哲学－天災と人災	教授 松田毅
15:10~16:40	【第6回】 講義：放射能問題と戦後日本 －ヒロシマ・イラク・フクシマ	教授 嘉指信雄
16:40~16:50	【閉講式】 挨拶	文学部長 釜谷武志